



声援を学校の力に変える2

学校長 村越 新

頂いたご意見について、続きです。

◆いじめへの対応について

いじめのない学級づくりについては、全教職員で取り組んでいるところですが、調査においても多数の事案が出ていることは事実です。調査に書かれた訴えについては、できるだけ複数の教職員で指導し、見届けをしています。訴えを書いた子が「今はされてない」と言ってくれるまで、見届けています。いじめに加担している可能性のある子の保護者に協力をいただくこともあります。

「見えないところでいじめがある」「対応が見えない」「キチンと指導していない」「相談しても解決してくれない（聞いてくれない）」等のご指摘があり、指導や見届け・見守りが不足していたと思い知らされました。

今後はさらに、楽しい学級づくりを進める中で、児童の様子をしっかりと掌握し、早期発見・早期解決に努めていきたいと考えています。また、保護者との連絡を適宜行っていくようにします。

*1月12日までに「いじめられている」記載（11月実施）について再確認します。

◆学校の相談体制について

「意見箱があるとよい」「担任以外の窓口を検討すべき」「相談に乗ってくれない」「連絡帳に書いても見てくれない」等のご指摘を頂きました。担任に伝えてもご不安が解消しない場合には、管理職でも他の職員でも良いので、声を聞かせていただくと助かります。意見箱についても、検討していきます。

◆お便り（リーバー活用）について

印刷・配布時間の短縮、値上げする紙代の縮減、より確実に迅速な保護者への通知をめざし、入間市ではリーバーの活用を進めてきました。

「大事なことは手紙でお願いしたい」「紙とリーバーがあり分かりにくい」「もう少し早めに知らせてもらいたい」等のご意見を頂きました。

今後も、できるだけ通知をリーバーで配信し、よりペーパーレス化を進めていこうと計画しているところです。「通知が多く大事なものが分かりにくい」「見過ごしてしまうことがある」等の声を直接いただいていることから、通知の仕方や時期については、十分に検討していく必要があると考えています。

◆少人数指導について

本年度は、3年生以上で算数の少人数指導を行う計画でしたが、実際には計画通りの指導ができていません。「学力別の授業がなくなり残念」等のご意見がありましたが、ご指摘の通りで、申し訳なく思っています。

少人数指導は担任+1の教職員がそろっていないと実施が難しい学習形態です。教職員数の関係で確約はできないのですが、できるだけ工夫をして全面実施を目指していきたいと考えています。

◆家庭学習について

学校からの課題（宿題）は、基礎・基本の定着と家庭での学習習慣づけをねらって出しています。発達段階や個々の特性に応じた課題提示を心がけていますが、改善の余地はあると感じているところです。

「何をしたらよいか分からない」「宿題を学校で済ませているようだ」「子供が選択できるようにしてほしい」「習っていない課題が出る」「意味が分からない宿題がある」などのご指摘を頂きました。

今後は、連絡帳やオクリンクを活用し内容やねらいをより明確に伝えること、自主学習のよい事例を提示していくこと、日々の授業での理解をしっかりと見届けることなどに努めて、家庭学習の充実につなげていきたいと考えています。

◆設備・学習環境について

掃除や整理整頓が行き届いていないことについて、複数のご指摘を頂きました。「トイレの洗面台が汚い」「トイレが臭い」「後ろのロッカー等の乱れに驚いた」等、具体的に伝えていただいたので、意識して環境美化に取り組んで参ります。子供だけで改善できない箇所については、我々教職員も取り組んでいきます。また、手が足りない場所については業者へ依頼やボランティア活用等も検討していきたいと思えます。

◆その他

次のご意見についても、不安解消に向けて改善に努めていきます。

- 「何も教えてもらえない授業があった」
- 「児童に柔軟に対応してもらいたい」
- 「子供を突き放すような対応をされた」
- 「給食の時間が短い」
- 「他の子が怒られるのを見るのが嫌だと言っている」
- 「不審者がこわい」
- 「テストの内容を親も確認したい」
- 「漢字テストの再テストをしてほしい」
- 「オンライン学習のやり方を事前に指導しておいてもらいたい」
- 「校内音楽会の日程を検討してほしい」

改善が見られない場合には、いつでもお知らせいただくと幸いです。